

かえ

『いのちに還る』

トーク&ライブ 鈴木重子 with ウォン・ウィンツァン

いのちの響きをつむぐ歌い手、鈴木重子さんは、紛争地域で生まれた“平和の歌”を集めるプロジェクト『Breath for Peace』の発起人。歌を通じて平和を呼びかけています。鈴木さんのやさしい歌声を、『瞑想のピアニスト』ウォン・ウィンツァンさんの透明の音色に乗せてお届けします。こころ安らぐひとときに、平和への思いを馳せてください。

鈴木 重子さん

(ヴォーカリスト)

ウォン・
ウィンツァンさん

(ピアニスト)



日時

平成29年 **1月22日** (日)

《開演》14時 (開場：13時30分)



場所

鎌倉生涯学習センター ホール

(鎌倉駅東口正面を直進 徒歩3分)



入場料

500円 (前売りのみ)

託児の
ご案内

2歳以上のお子様の託児をします。**1月13日(金)**までに
文化人権推進課にお申し込みを(先着10名)

チケット取扱

《販売開始》

12月1日(木) 予定

定員：先着280名

《島森書店》

0467-22-0266

《たらば書房》

0467-22-2492

《松林堂書店》

0467-22-0846

- 文化人権推進課
- 腰越支所
- 深沢支所
- 大船支所
- 玉縄支所

※未就学児の入場はご遠慮ください。

鈴木重子 (すずきしげこ) <http://www.shigeko.jp/>

ヴォーカリスト。いのちの響きをつむぐ歌い手。母の腕の中で聴いた子守唄の優しい響きが歌声に触れたはじまり。幼い頃からピアノや声楽に親しみ、東京大学在学中に本格的にボサノヴァ、ジャズヴォーカルを学ぶ。司法試験への挑戦とジャズクラブでの活動を続けながら、自身の歩む道を模索。「本当に好きなことをして、限りある人生を生きよう」とヴォーカリストの道を選択。95年デビュー以降、多くの作品を発表。さまざまなジャンルの曲を、独自のスタイルで表現し、聴き手のところを静かな場所へといざなう歌声は、多くの人々から愛されている。すべての生命に響き合う唄を求めて、学校、病院、福祉施設など分野を越えて活動している。

Wong WingTsan (ウォン・ウィンツァン) <http://www.satowa-music.com/>

NHK「につぼん紀行」 Eテレ「こころの時代」テーマ曲でも知られるピアニスト、作曲家。1949年神戸で、香港出身の父、日本と中国のハーフの母との間に生まれ、1歳より東京で育つ。19歳からプロとしてジャズ、フュージョンなどを演奏。87年に瞑想の体験を通して自己の音楽の在り方を確信し、90年よりピアノソロ活動開始。超越意識で奏でる透明な音色で“瞑想のピアニスト”と呼ばれる。サトワミュージックより30作近くのCDを発表。命に寄り添い平和への思いを込めた新譜「光を世界へ ～Yes All Yes～」では初めて作詞も手がけ、鈴木重子はじめ5人のヴォーカルと、コーラスをフィーチャー。YouTubeで紹介するミュージックビデオも多くの感動を呼んでいる。

鎌倉平和推進実行委員会について

昭和33年8月、鎌倉市は、平和都市宣言をおこないました。

この宣言は、市民有志の皆さんの請願を、市議会が全会一致で採択し、市が宣言したものです。

平成7年、市民の実行委員会により戦後50周年記念事業が行われました。

その翌年から公募による市民で構成された「鎌倉平和推進実行委員会」が発足。平和・環境・人権などをテーマとした平和推進事業を市と協働で企画・運営しています。これまでに、講演会やコンサート、映画上映会、平和バスツアーなどを行ってきました。また、平成12年度より、申し出のあった市内の小・中学校へ「こどもたちと一緒に平和について考える授業」を出前するお手伝いもしています。

これからも、一人でも多くの市民の皆さんに参加していただける企画を心がけていきます。

平和都市宣言

われわれは、日本国憲法を貫く平和精神に基いて、核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、全世界の人々と相協力してその実現を期する。多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、ここに永久に平和都市であることを宣言する。

昭和33年（1958年）8月10日

会場案内



JR鎌倉駅東口徒歩3分

鎌倉市小町1-10-5